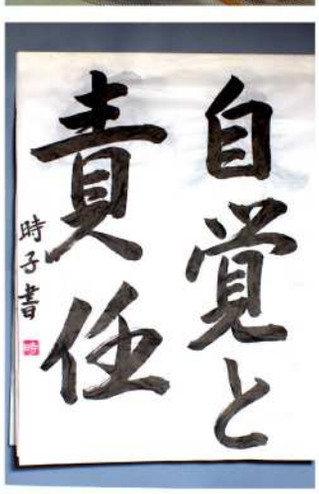
PDF Compressor Pro

2012年 9月号

わくわく ゆったり 楽しく

ももたろう 活動報告



※ 写真の転載はご遠慮ください。

◆主な活動と空き状況

[9月12日現在]

入浴 火× 金×

※○は空きがあります

【第1】

月	×	歌唱指導
火	×	手芸（押絵）
水	×	歌 手品 ｹﾞｰﾑ
木	×	習字
金	○	生演奏での歌
土	○	ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ ﾖｶﾞ

【第2】

月	○	ｱｰﾄ制作
火	×	手芸（押絵）
水	×	手芸（押絵）
木	×	習字
金	×	ｱｳﾄﾄﾞｱ
土	×	ｱｳﾄﾄﾞｱ 調理等

「デイで楽しく過ごし、ご家庭でいつまでも安心して生活ができるように」と願いを込めて、9月からももたろうの訪問介護事業である“ケア ももたろう”が始まりました。運営はデイでお馴染みのスタッフ3名が担当しており、ケアスタッフも全員デイで研修を積んでいますので、安心してご利用ください。ご自宅でのお困り事に、きっとお役にたてますので、何なりとご相談ください。

デイサービス
ももたろう
東京都府中市矢崎町 2-3-5
TEL 042-366-5248
FAX 042-366-5239
WEB http://mtaro.jp
事業者番号 :1373801685

PDF Compressor Pro

その方は８月の３週間をほぼ寝たきりで過ごし、食事も喉を通らない日が続いた。
体温は 37 度を超え、体中が痛む。トイレに立つことも稀だった。
文字通り生死を彷徨い、うわごとを言って眠っていたという。
夢も見た。16 歳の頃住んでいた街が事細かに浮かんできたそうだ。
「今は全員亡くなっただろうけど」と、当時の友人が何人も出てきたという。

寝たきりの状況を脱したきっかけは、長年連れ添った愛犬の死。

「全部あの子が、持って行ってくれたのよ」

愛犬と別れを告げた翌日、3 週間寝込んだとは思えないほど元気そうなお姿で、
その方は“ももたろう”に再び戻ってこられた。
大切な家族の一員と別れた直後と思えないほどの、優しい微笑みを携えて。

「若いころは命の尊さなどは感じず、お金のやりくりにばかり夢中になっていた。
今は命のありがたさをしみじみと感じる。
年をとれば体も弱くなり、友人も亡くなっていく。
死ぬことに恐怖を感じない日なんてない」

周囲で談笑されている方々を見渡して続ける。

「ここへ来てみんなと笑っていられることが、本当に、本当に、幸せ。
ここは仲間が揃う場所。私もここへ戻れて、やっと生き返ったよ」

１カ月前よりも、一層慈悲深い表情で仰られるその声は、微かな震えを伴っていた。

「今までは無意識に生きていたけど、今は人生を無駄にしないように、精いっぱい生きたいと思う。この歳になって感じることは、“感謝感謝”の気持ちが一番大事だということ。人間はいざというときは独りで寂しいもの。だから喧嘩をしている家族をみると“喧嘩はやめなさい”とは言うけれど、本当はケンカできる人がいることこそが幸せだということを感じて欲しい」

「夫や娘に先立たれ、“なんで先に逝ったのよ”と思っていたけど、
今では、“生かしておいてくれて、ありがとう”と言いたい。
いつまで生きられるかはわからない。でも、みんなに生かされたこの命。
大事に守っていきたい」